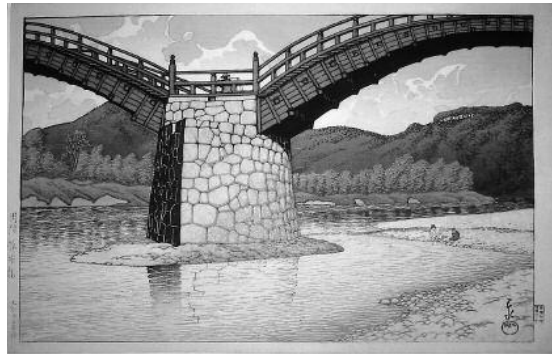




歌川広重
「名所江戸百景 大橋あたけの夕立」
1857年 館蔵



川瀬巴水
「旅みやげ第三集 周防錦帯橋」1924年 館蔵

風景画が浮世絵版画の一ジャンルとして確立されたのは、江戸時代後期の天保期に入ってからのものであり、以来多くの絵師が風景を描いてきました。

本展では、浮世絵風景版画史の草創期・江戸天保期から大正昭和時代までの浮世絵風景版画約100年の歴史を、幕末の広重の作品、明治時代の小林清親きよちかの作品、大正昭和時代の川瀬巴水はすいの作品などを主に紹介することによってたどります。

高浜市やきものの里かわら美術館 小企画展

「広重から清親、巴水まで

浮世絵風景版画100年の系譜」

開催期間 6月7日(木)～7月8日(日) 午前9時～午後5時

※観覧券の販売は午後4時30分までです。

観覧料 高校生以上160円(200円)、中学生以下無料

※()内の料金は、市外在住の方の場合です。

休館日 月曜日

問合せ先 かわら美術館 ☎52-3366

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

(ポルトガル語のページを読んで下さい!)

広報 **たかはま**

編集/発行 高浜市役所市民生活グループ
〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2
TEL(0566)52-1111 FAX(0566)52-1110
<http://www.city.takahama.lg.jp/>
電子メール info@city.takahama.lg.jp
早期配布にご協力ください。



広報たかはまは古紙配合率100%の
再生紙と大豆インキを使用しています。

表紙 青空の下で紙芝居

やわらかな日差しが心地よい季節になりましたね。市内の各児童センターでは、地域の公園で「青空紙芝居」を行なっています。体操や簡単にできる遊びなども行なわれ、中部公園では散歩に来ていた親子など15組が紙芝居を楽しそうに見ていました。

※青空紙芝居は4月から6月と9月から11月に月1回、市内4箇所の公園で行なわれています。